

令和5年度銚田地域農業学園第6回講座  
「銚田地域農業青年プロジェクト実績発表会」を開催しました

令和6年1月17日、農業学園生や銚田市4Hクラブ員、助言者等あわせて17名の農業関係者が参加し、農業学園第6回講座「銚田地域農業青年プロジェクト実績発表会」を開催しました。

講座では、個人プロジェクト活動として銚田市の井川和義氏により「生分解性マルチを用いたカンショ栽培の作業省力化および規模拡大の検討」、共同プロジェクト活動として銚田市4Hクラブの田山耕司氏により「カンショの収量向上を目指して」の発表が行われました。出席者からは、生分解性マルチ導入前後の作業労賃の違い、ほ場管理での苦労などの質問があり、活発なやりとりが行われました。そして、助言者から話す速さや声の大きさなど、発表の仕方についてご助言をいただくとともに、「若い力でどんどん新たなことを発見して欲しい」と激励をいただきました。

発表後の情報提供では、みかど化工株式会社より生分解性マルチの使い方のポイント、カンショ以外の作物での使用事例などの説明がありました。参加者からは、土壌消毒への影響や生分解性マルチの分解スピードについてなど、従来のポリマルチとの違いについて質問があり、関心が高いことが伺えました。

今後も新規就農者等の経営発展に向けて支援を行っていきます。



発表の様子（写真左：井川氏、写真右：田山氏）